



**東北の
暮らしと未来を
支えるシゴト**

Work to support the
living and future of Tohoku



RECRUIT GUIDE
採用案内

Welcome!

CHANGE & CHALLENGE

ともに東北の暮らしと未来を創造しませんか？

当協会は、国土の健全な発展を目的に、安全で快適に暮らすための社会資本の整備・保全又は管理に関わる事業や、災害防止に関する事業などを実施している一般社団法人です。東北地方が安全・安心で住みよい国土であるとともに、東日本大震災からの復興と新たな地域の創生を目指し、大きく2つの事業を行っています。

具体的には、収益事業として、東北地方の河川や道路など、社会資本の整備・保全事業に関連する様々な業務、そして公益事業として「防災に関する支援事業」「技術開発支援事業」「研究会・講習会等に関する事業」など、社会のニーズに対応する事業を実施しています。

こうした事業展開のためにも、地域社会から信頼され期待される組織であることの必要性を強く感じております。そのうえで専門の知識をもとに、社会の要請に応じて“CHANGE”できる柔軟性と、機を逃さず果敢に“CHALLENGE”する行動力を持ち続けて活動することを目指しています。

ともに活動する仲間には、なによりも誠実であることを望んでいます。そして、何事にも前向きに取り組み、自らの知識や技術力を高める意欲を持っている人材を求めています。

私たちと一緒に、東北の明るく元気な未来を創造する仕事に取り組んでみませんか。



東北地域づくり協会のシゴト

「2つの柱」

東北地方に住んでいる人たちが、安全で安心な生活が出来るよう社会基盤となるインフラ整備や管理に関連する業務を行っています。

収益事業

社会資本の利用・整備又は保全事業に関連した業務及び東日本大震災復興関連業務や、河川・道路などの施設監理業務を国などから受注して実施しています。

公益事業[※]

防災活動支援事業をはじめ、地域社会のニーズに対応し、東北の地域づくりに広く貢献する事業として「みちのく国づくり支援事業」のほか、協定に基づく特別支援事業などを実施しています。

国土の利用及び整備、又は保全事業の関連業務、再生可能エネルギー事業など

- ◎復興関連事業
- ◎福島再生関連事業
- ◎社会資本整備監理事業
- ◎品質確保事業
- ◎市町村支援事業
- ◎再生可能エネルギー事業

公益目的に関する事業

【公募型】

みちのく国づくり支援事業

- ◎防災に関する支援事業
- ◎調査研究及び研究助成事業
- ◎研究会・講習会等に関する事業
- ◎広報活動及びその支援に関する事業

【企画型】

- ◎協定に基づく特別支援事業
- ◎技術アドバイザーによる市町村への直接支援事業
- ◎震災地域再生活動事業
- ◎担い手育成事業
- ◎社会資本整備に関する広報事業



※公益事業とは

当協会の公益事業とは公益法人認定法に規定する「公益目的事業」のことで、「不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するもの」です。一般的に公益事業と呼ばれている交通・電気・水道・ガスなどの事業とは異なります。

入社したらキミが携わるシゴト「収益事業」

国土の利用、整備・保全事業に関連する業務を国などから受注し実施しています。具体的には東日本大震災の「復興関連事業」、「福島再生関連事業」のほか、河川・ダム・道路などの施設や事業の監理を行う「社会資本整備監理事業」、第三者の立場で工事進捗状況などの品質証明を行う「品質確保事業」、市町村業務の支援を行う「市町村支援事業」、地球温暖化防止・エネルギー供給事業の一環として「再生可能エネルギー事業」などを実施しています。



【復興関連事業】

▷ 積算技術業務

工事発注図面、数量総括表、積算資料、積算データなどの作成を行い、発注者が円滑かつ的確に工事予定価格を算出できるように支援する業務です。



【積算技術業務に従事】



山形支所
積算第一課 係長
柳町 恭章

2007年4月入社
東北理工専門学校 測量建設科卒業
(現仙台工科専門学校)

シゴトの事
先輩に
聞きました!
①

私が従事しているのは、発注者支援業務の積算技術業務です。たぶん、設計・施工は皆さんピンと来るかもしれませんが、積算技術業務とは、社会資本整備における設計と施工の間の作業でコンサルタントが設計した成果品を工事発注する為に適正価格を算出する業務です。

私が主に担当している道路工事の中でも土工・橋梁・トンネルなど多種多様です。また、工事に於ける技術も進化しており、新技術への対応を求められるなど、日々の情報収集が必要です。

大変な業務ではありますが自分の担当した道路を通る際、目に見える仕事をしているとやりがいを感じています。

これからも重要な業務ですので、一緒に仕事をしていきましょう!

▷ 事業促進PPP業務

復興道路及び復興支援道路の早期整備のため進められている「三陸沿岸道路」と「宮古盛岡横断道路」の事業を、発注者と民間技術者が一体となって事業を促進する業務です。



【事業促進PPP業務に従事】



岩手支所
技術事業部 係長
荒浪 一秀

2002年4月入社
東北学院大学 工学部土木工学科卒業

シゴトの事
先輩に
聞きました!
②

事業促進PPP業務とは、事業期間の短縮を図ることを目的に、発注者の業務を我々民間技術者チームが発注者と一体となって行うというものです。

民間技術者には「事業監理」担当の当会職員の他、「調査設計」担当の設計コンサルタント技術者や「施工・施工監理」担当のゼネコン技術者がおり、各々の技術力・経験を活かして業務に当たっています。業務内容は、復興支援道路整備における事業の進捗管理や工事発注計画検討、地元調整、事業広報活動などを行っています。

今までに経験のない作業が多く大変な面はありますが、事業の進捗を肌で感じる事ができ、とても充実した日々を過ごしています。

皆さんもやりがいある職場で一緒に働いてみませんか。

▷ 技術審査業務

入札参加希望者から提出された技術資料の確認、工事実績や配置予定技術者の資格・経験などの照合、技術評価のための審査資料作成を行う業務です。



[福島再生関連事業]

▷ 中間貯蔵施設整備技術支援業務

環境省が福島県内で整備を進めている中間貯蔵施設において、環境省から業務を委託された企業への、発注事務補助、工事監督補助及び技術教育などの技術支援を行う業務です。



【中間貯蔵施設整備技術支援業務に従事】



福島支所 技術員
中間貯蔵・環境安全事業(株)
に派遣

箭内 千紘

2010年4月入社
日本大学 工学部土木工学科卒業

シゴトの事
先輩に
聞きました!
③

東日本大震災により、福島県内において除染に伴い発生した大量の除去土壌等の処理が復興に向けた大きな課題となっています。除去土壌などを最終処分までの間、安全かつ集中的に貯蔵する中間貯蔵施設を整備し、除去土壌などを仮置場などから輸送する必要があります。

私は、環境省が発注する中間貯蔵施設の保管場、受入・分別施設、土壌貯蔵施設などの整備工事の積算業務を行っています。自分が携わった工事が完成に近づいていく様子を目の当たりにすると、とても達成感があります。仕事をしていく中で新たな課題もありますが、周りの方々の協力を得ることにより、確かな知識を身につけ、正確な積算、適正な工事価格を算出することを心がけています。日々、皆さんと一緒に働ける事を楽しみにしています。

▷ 復興道路等設計積算審査補助業務

WTO対象工事における工事に関する発注資料の作成検討などを行うことにより、復興道路・復興支援道路などの円滑な事業促進を支援する業務です。



[社会資本整備監理事業①]

▷ 河川管理施設監理業務

河川における巡視や点検結果を踏まえたモニタリング計画の提案、出水時などにおける出張所の初動対応の支援など、河川管理を支援する業務を実施しています。



▷ ダム事業監理業務

ダム事業の円滑な推進のため、事業監理業務として工程管理と状況把握、懸案事項管理と解決への取り組み、事業調整会議の開催、全体の状況把握と課題解決の推進などを実施しています。



▷ ダム施設監理業務

ダム施設に関する点検・巡視結果の収集分析やとりまとめを行い、ダム施設の機能の確保やそのために必要な修繕計画の提案など、ダム管理を支援する業務を実施しています。



[社会資本整備監理事業②]

▷ 道路管理事業監理事業

国土交通省の業務を支援するため、道路施設の確認と台帳整理、補修計画の立案、地元及び関係行政機関などとの協議や事業調整、異常気象時の対応と被災履歴の整理などを実施しています。



▷ 交通安全事業監理事業

複数箇所の交通安全事業の早期着手に向け、測量・調査・設計業務などへの指導や照査、地元及び関係行政機関などとの協議や事業調整、スケジュール管理を実施しています。



▷ 災害対策事業監理事業

東日本大震災における旧北上川河口の復旧・復興及び吉田川の床上浸水対策の事業推進を支援するため、全体事業の進捗管理や課題、事業調整などに関する監理事業を実施しています。



[品質確保事業]

▷ 第三者品質証明業務

発注者・施工者以外の第三者が工事実施状況、契約図書との適合状況の確認を行い、その結果を監督及び検査に反映させて、工事の品質確保体制を強化する業務です。

[市町村支援事業]

▷ 市町村支援業務

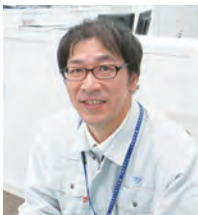
国が窓口となる「道の駅」などの地域づくり事業において、制度を踏まえた申請等の手続き、施設計画策定と各種委員会設置、スケジュール管理などの市町村業務を支援しています。

[再生可能エネルギー事業]

▷ 太陽光発電

地球温暖化の防止及びエネルギー供給事業の一環として、平成28年10月25日より「にっこりソーラー発電所」が発電を開始いたしました。

[交通安全事業監理事業に従事]



仙台支所
係長
工藤 寿

2007年4月入社
青森県立弘前工業高等学校
土木科卒業

シゴトの事
先輩に
聞きました!
④

みんなが当たり前のように使っている道路。そこには交通渋滞や交通事故など、早急に対応しなければならない深刻な問題があります。私は、国土交通省が行う交通安全事業について、円滑で効率的、さらにコスト縮減等に配慮しつつ、早期に安全で安心して利用できる道路になることをめざし、事業マネジメント（事業監理）を担当しております。

主に調査や設計、地元や関係機関等との協議・調整を行っていますが、事業が進んでいく様を直接実感することができ、大変やりがいがある仕事です。

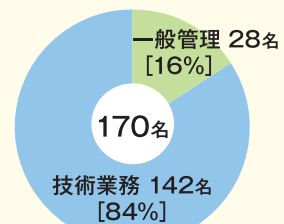
また、道路利用者の安全確保・利便性向上に直結する事業に携われることに、日々誇りを感じながら仕事をしています。皆さんの優れた『柔軟性』と『行動力』を待っています。

東北地域づくり協会は 技術者集団!?

COLUMN

「東北地域づくり協会」の職員等は170名、その内技術業務に携わっているのが142名です。土木技術に関する技術士、土木施工管理技士、公共工事品質確保技術者などの資格を持つ職員が多く在籍しています。

土木に関する資格ばかりではなく、電気工事士の資格を持つ職員がいるなど、半世紀の長きにわたり、東北のインフラ整備を支援してきた圧倒的な技術力が協会を支えています。



(H31.4.1現在)

入社したらキミが携わるシゴト「公益事業」

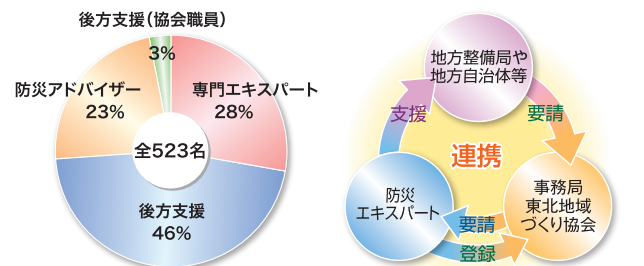
公益事業として防災活動支援事業のほか、「公募型」のみちのく国づくり支援事業は、社会資本整備の推進に関する事業を公募により広く募集し、支援を行っているものです。「防災に関する支援事業」、「調査研究及び研究助成事業」など4つの支援事業を実施しています。「企画型」は、「協定に基づく特別支援事業」、「技術アドバイザーによる市町村への直接支援事業」など5つの支援事業を実施しています。



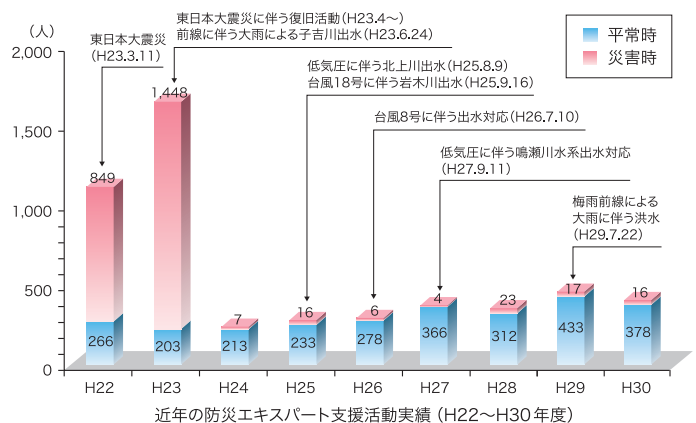
「防災活動支援事業」

▶ 防災エキスパート制度

防災エキスパートは、行政経験・災害対応経験が豊富な人材を防災エキスパートとして登録し、災害時・平常時間問わずボランティアにより活動を行っています。その活動範囲は、東北地方整備局管内や首都圏直下地震などの管外における大規模災害にも対応します。



(防災エキスパート登録者数/H31.4.1現在)



「公募型」みちのく国づくり支援事業

▶ 岩木川改修100周年記念事業

岩木川改修期成同盟会(明治43年設立)が、当時改修事業着手を記念し、建立した「記念碑」の損傷した部分などを復元し、国土交通省の五所川原出張所構内においてその「記念碑」の除幕式を行いました。(平成30年8月4日)



「企画型」協定に基づく特別支援事業

▶ 技術開発に係る連携協定

災害科学研究の深化や実践的防災学への体系化を図り、災害時における避難行動、研修会及び防災訓練等の開催、災害体験の伝承、地域貢献に関することなどについて平成29年3月6日、国立大学法人東北大学災害科学国際研究所と連携協定を締結しました。



「協会職員の1日(例)」

職員の1日の仕事を追いかけてみました。



ハードな仕事も多いですが、それだけに達成した時の喜びは何物にもかえられません。

地域事業部
技術員

橋本 和博

2017年4月入社
日本大学 工学部
土木工学科卒業

INTERVIEW

Q 協会で働きたいと思ったのはどうしてですか？

大学で学んだ土木についての専門知識を活かせる仕事がしたいと思い志望しました。

Q 職場の雰囲気はどのようにですか？

私が所属している部署は4人体制です。教えて欲しいことなど、気軽に訊ねることができますし、職場の雰囲気はとても穏やかで仕事がしやすいです。

Q 協会の魅力は？

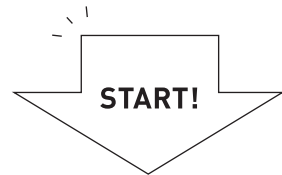
当協会は収益事業だけでなく公益事業に力を入れています。また東北全体の復興に携わることができるのが魅力だと思っています。

Q どのなところにやりがいを感じていますか？

仕事で地域貢献に携わることができることです。公益事業に関する業務に就いていることもやりがいに感じています。

Q 休みの日はどのように過ごしていますか？

掃除や洗濯、それとドライブをしたりして過ごしています。最近ゴルフの練習を始めました。



8:50 出勤

自転車か徒歩で出社しています。アパート選びの際に協会のサポートがあり、勤務先から便利な場所に住んでいます。



9:00 業務開始(メールチェック・取引先との電話等)

出社してまずメールの確認。研究機関や各種団体からの申請や問い合わせに対応する業務を担っているのでこの作業は欠かせません。普段の業務は資料作成などデスクワークが中心です。



12:00 昼食

近くのコンビニやスーパーでお弁当を買ってきたり、ときにはラーメン屋さんに出かけます。



12:45 午後の業務(委員会の準備等)

この日は「建設事業に関する技術開発支援事業」の委員会が行われたため準備と運営の業務をしました。事前に作成しておいた資料を並べ委員の到着を待っているところです。



15:00 午後の業務(上司とのミーティング等)

1人で出来ない大きなプロジェクトは、チームで動きます。上司への報告や相談、資料のチェック等をミーティング形式で行うこともあります。



17:30 退勤

時期によって忙しさが違います。今の部署は年度初めにすべき業務が多く、残業をすることもあります。



「先輩からのメッセージ」



技術事業部 係長
(併任 審査積算室)

市沢 幸恵

2000年4月入社
岩手大学 工学部
建設環境工学科卒業

一緒にゼネラリストをめざしませんか!

当協会にとって技術系の女性職員として初めて採用されました。近年は女性技術者が増え仕事上で区別されることはなくなってきましたし、業界としても積極的に受け入れる傾向にあります。私の主な業務は技術審査業務や復興関連業務です。具体的には国土交通省が公共工事の業者を決定する際に行う総合評価のための書類の整理などを行っています。また、土木学会の幹事をさせていただいており、土木技術や業界に関する女性向けのイベントの企画や運営なども行っています。

当協会には資格取得支援制度があり、私は支援を得て一級土木施工管理技士を取得しました。やる気を支援してくれる職場に感謝しています。

土木の仕事といえば施工や設計のイメージが強いと思いますが、発注者側の支援をする仕事があることを知っていただきたいです。建設業界の仕事では、道路やトンネルなど限られた分野のスペシャリストとして活躍することが多いと思いますが、当協会の仕事は道路、河川、橋梁上部工、下部工など多岐にわたる知識が必要であり、オールマイティな力が必要です。そこに大きなやりがいを感じられます。ぜひ一緒にゼネラリストを目指してみませんか。



管理部 主任

阿部 伸哉

2004年4月入社
東北学院大学 法学部
法律学科卒業

地域社会を支える仕事をバックアップ

当協会を志望したのは、社会資本整備に関する仕事や、公益事業に関心があったためです。公益事業として、防災活動支援や復興事業に関わる技術支援、河川・ダム・道路の事業監理業務を通じて、地域に根ざした社会資本整備に携わる事ができている事に魅力を感じています。

私が所属する管理部は、経理、総務、人事の仕事を通じて、各業務の下支えをしていると自負しています。私のメインの業務は契約管理ですが、ほかにも経理事務や庁舎管理など多岐にわたります。技術職員とは別分野で協会の経営にも関わる仕事にやりがいを感じています。

私は職員の皆さんが快適に仕事ができる環境づくりを心掛けていますし、職員の皆さんのモチベーションを維持することも大切な役割だと考えています。関係各所への対応も多い事から、コミュニケーションの大切さも感じています。

学生の皆さんには、部活動やサークル活動などでさまざまな経験を積んで欲しいと思います。幅広い人たちとふれあうことで視野が広がり、コミュニケーション能力が鍛えられ、臨機応変に自分で考えて行動できる訓練になると思います。広げた視野を活かして、一緒に地域社会を支える仕事をバックアップしていきましょう。



河川技術部
技術員

柳谷 勇吾

2016年4月入社
青森県立青森工業高等学校
都市環境科卒業

社会貢献につながる仕事に魅力を感じます

高校生の頃、校内で行われた企業説明会で当協会の事業内容について説明を受け、公益事業と収益事業の2つの事業による社会貢献に魅力を感じ、就職しました。

入社してから2年間は青森支所に勤務し、収益事業である「復興関連事業」に携わっていました。3年目から現在の部署に異動となり、公益事業と収益事業の2つの業務を担っています。

公益事業では、行政経験及び災害対応経験が豊富な防災エキスパートの事務局を担っています。今後予測される大規模災害の発生に備えた、防災体制強化が必要となるため、防災エキスパートによる支援は必要不可欠となっています。収益事業では、国の災害対策事業の促進を図る事業監理業務に携わっています。事業監理業務では、土木に対する幅広い知識や経験を活かし、事業の進捗管理や関係者との事業調整等の業務を行っています。防災支援事業の第一線に携われることや、事業監理業務による社会資本整備に貢献していることにやりがいを感じています。

私が学生の時は、「社会に出て働く」ということに不安を感じていましたが、頼もしい上司や優しい先輩方の丁寧な指導により、今では自信を持って働くことができています。現在学生の皆さんと、当協会の一員として一緒に働ける日を楽しみにしています。

東北地域づくり協会が 「求める人材」

1 誠実で責任感の強い人

私たちの仕事は、国などから依頼された業務が主なものです。必要なのは、専門知識や技術力ですが、人にも仕事にも誠実に対応し、最後まで責任をもって仕事に取り組む人を求めています。

2 前向きに挑戦する人

技術は常に進歩しているので就職してからも学ぶべきことがありますし、資格もさまざまあります。また、新しい分野の仕事も出てきます。好奇心や向上心を持ち、何事にも前向きに挑戦する意欲のある人を求めています。

3 協調性のある人

職場において相手の意見をよく聞き、担当する仕事の範囲を超えて上司・同僚などと、協力し合うことが出来る人を求めています。

募 集 要 項

職種	土木工事の技術審査・積算技術業務、河川・道路などの監理業務など
業務内容	行政機関（主に国土交通省）が発注する工事の支援業務、施設・事業の監理業務など（技術審査・設計積算・監理業務など）
勤務地	東北管内（主に、青森市、盛岡市、仙台市、秋田市、山形市、福島市）
学歴	大学、高等専門学校などの工学系学科（土木など）の卒業見込み者
雇用形態	正社員
勤務時間	8時30分から17時15分 仙台市内 9時00分から17時30分
休日	週休二日制（毎週土・日）、祝日、年末年始
休業等	育児休業・介護休業・子の看護休暇 有り
給与	基本給（月額）※2018年度実績 大学院卒 212,200円 大学卒 201,600円 高専卒 185,700円 高等学校卒 169,800円
諸手当	扶養手当、通勤手当、役職手当、職務（資格）手当、超過勤務手当
賞与	年2回（3.8ヶ月／2018年度実績）、業績手当（3月）も有り
定年等	定年60歳 再雇用65歳まで
加入保険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
募集期間	お問い合わせください

採用に関するお問合せ先

一般社団法人東北地域づくり協会 管理部（担当／高橋・荒井）
〒980-0871 仙台市青葉区八幡一丁目4-16 Tel.022-268-4611

採用についてよくある質問

Q 採用後の不安がありますが、どのような研修制度がありますか。

東北地方整備局との共催による管内での研修のほか、全国建設研修センター、東北土木技術人材育成協議会主催の研修などがあり、協会として職員に積極的に参加してもらっています。資格取得費用等をサポートする制度もあります。

Q 残業はありますか。あるとすればどのくらいでしょうか。

残業はあります。部署によって差がありますが、労働基準法等に準拠し、月の最長時間などを定めて運用しています。

Q 転勤はありますか？

東北6県を範囲として転勤があります。勤務先は面談を行い、本人の希望などを考慮して決定されます。

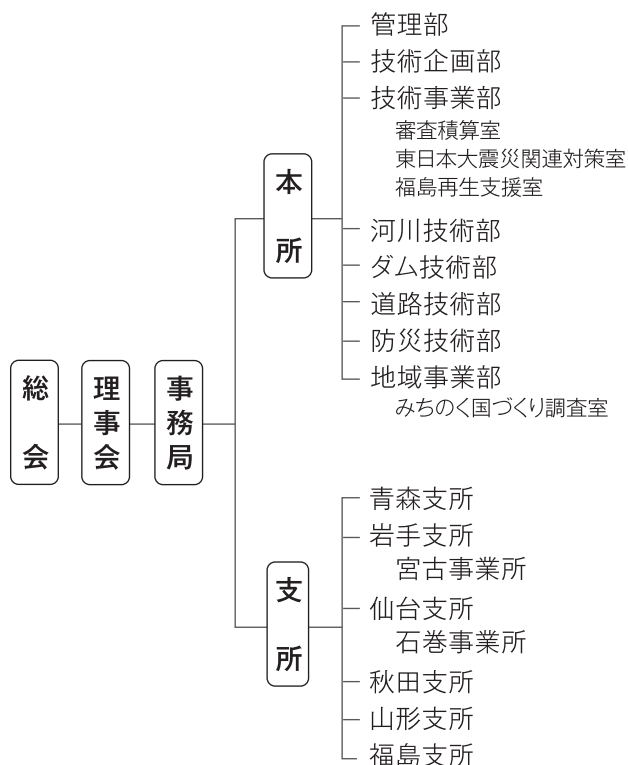
Q 寮などはありますか。

寮はありませんが、アパートなどを借り上げた場合の一定額を支給する制度があります。

Q 語学力は必要ですか？

今のところ特に必要としていません。

【東北地域づくり協会の組織】



【会員数】 1,104名

青 森	47	秋 田	81
岩 手	103	山 形	115
宮 城	556	福 島	78
他地方	124		

(H31.4.1現在)

【東北地域づくり協会のあゆみ】

東北建設協会

昭和41年 6月	設立総会開催 事務所を仙台市北三番丁に開設
昭和41年 9月	建設大臣の設立許可
昭和43年 2月	事務所を仙台市北三番丁(下永ビル)に移転
昭和48年 5月	青森支所開設
昭和49年 4月	岩手支所開設
昭和51年 4月	仙台支所開設
昭和52年 4月	山形支所開設
8月	本所を仙台市木町通一丁目(安藤ビル)に移転
昭和53年 4月	福島支所開設
昭和54年 3月	秋田支所開設
平成 7年10月	本所公益ビル完成により 仙台市八幡一丁目に移転
平成13年 4月	ISO9001認証取得
平成17年12月	CSR行動指針策定
平成20年12月	ISO/IEC 27001認証取得
平成23年 3月	東日本大震災発生(3月11日、14時46分) (東日本大震災 災害対策本部設置)
平成24年 4月	東日本大震災関連対策室を設置
12月	第1次事業譲渡を実施

東北地域づくり協会

平成25年 3月	一般社団法人として内閣総理大臣認可
4月	一般社団法人東北地域づくり協会への移行
12月	第2次事業譲渡を実施
平成29年 2月	公益事業50年 記念講演会
平成30年 4月	福島再生支援室を設置
平成31年 4月	防災技術部を設置



一般社団法人

東北地域づくり協会
Tohoku Chiikizukuri Kyokai



〒980-0871 宮城県仙台市青葉区八幡一丁目4-16

<http://www.tohokuck.jp/>

管理部・会員 河川技術部 ダム技術部 道路技術部 Tel.022-268-4611 / Fax.022-227-6344
技術事業部 Tel.022-268-4454 / Fax.022-227-5244
技術企画部 防災技術部 地域事業部 (みちのく国づくり調査室) Tel.022-268-4711 / Fax.022-227-5244
販売 Tel.022-268-4192 / Fax.022-227-7144

■ 青森支所

〒030-0822 青森県青森市中央四丁目12-6
Tel.017-734-7754 / Fax.017-734-7755

■ 仙台支所

〒982-0003 宮城県仙台市太白区郡山五丁目14-13
Tel.022-247-0577 / Fax.022-247-0680

石巻事業所

〒986-0861 宮城県石巻市蛇田字新西境谷地99-12
Tel.0225-93-5828 / Fax.0225-93-5022

■ 山形支所

〒990-2339 山形県山形市成沢西四丁目2-3
Tel.023-688-8044 / Fax.023-688-8068

■ 岩手支所

〒020-0114 岩手県盛岡市高松二丁目14-28
Tel.019-662-7010 / Fax.019-662-7011

宮古事業所

〒027-0029 岩手県宮古市藤の川13-3
Tel.0193-63-7396 / Fax.0193-63-7398

■ 秋田支所

〒010-0951 秋田県秋田市山王四丁目4-31
Tel.018-823-3148 / Fax.018-823-3150

■ 福島支所

〒960-8153 福島県福島市黒岩字八郎内5-2
Tel.024-545-4371 / Fax.024-545-4329

東北地域づくり協会のシンボルマークは、
みちのくの豊かな自然をモチーフに、「流れる川」、「伸びる道」、
「緑豊かな山並み」、そして東北6県を表しています。